場所　宮城県加美郡加美町

面積　11.3ha

活動目的　希少種の昆虫類や湿地性植物の保全を図るため、豊かな自然環境の保全に寄与する。



サイト概要

　荒沢地域は、火山と河岸段丘でつくられた原地形が、大規模な地すべりにより特有の地形や水系が展開されたことに伴い、湿地が多数形成されている。沼にはシダ植物や水生植物など希少な種が生育している。特にトンボ類の希少種の一部は宮城県内で唯一の生息地となっている。

土地利用の変遷

荒沢地域は落葉広葉樹林であるブナ林が広く覆われていたが、第２次大戦前にブナ林を伐採して採草地や放牧地として利用された。戦後は、大規模な人工造林が行われスギやアカマツの植林地となったが、地域内には湿地や池沼群など多数存在し、複雑な地形が形成されていることもあり、人為的影響を受けることなく自然状態が保たれている。

サイト周辺の環境

荒沢地区は宮城県立自然公園船形連邦と薬莱山の西側の間に位置し、周辺には大滝川や支流の荒沢が流れている。荒沢地区の西側には「千古の森」と位置付け、ブナ林等の巨木の森を永久に伐採しない加美町の恒久的財産として保全地域に指定している。

アピールポイント

荒沢湿原の池沼群には、トンボ類やチョウ類などの希少種の昆虫類をはじめ、貴重な植物も植生している。この湿原や池沼群を保全する価値は高く、このままの状態を維持していくことに大きな意義がある。

また、森林の機能と役割についての理解を深め、心身の健全な発達に寄与することを目的に、田谷地沼に隣接し荒沢自然館を設置し、自然教育や体験の場として、森林散策や自然観察が行われ、シーズンを通して多くの方が訪れる。

生物多様性の価値

価値（１）公的機関等によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場

【選定されている制度名】

日本の重要湿地500　　No112　田谷地沼・かば谷地・すげ沼湿地池沼群

【選定理由や内容】

荒沢地域のほぼ全域がすげ沼地すべり地帯と呼ばれており、この地すべり運動によって地形が変形するなど、多数の凹地が形成され小規模な池沼や湿地が形成されている。
生物群：湿原植生
植　生：ハンノキーヤチダモ群落、ハンノキ群落、ヤチスゲ群落、ヨシーミソソバ群落、
　　オオイヌノハナヒゲームラサキヒゲミズゴケ群落など



写真の説明：田谷地沼の全景



写真の説明：くりけ沼（手前）とカヤの中沼（奥）

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

田谷地沼はエリア内の地すべり地における最大の沼である。下流部には堤を設けて貯水池としての機能を有し、上流部にはミズバショウが群生し、開花時期には多くの人が訪れる。
「荒沢県自然環境保全地域候補地学術調査報告書」によるとトンボ類の希少種の一部の生息は、県内で唯一確認された池沼が存在する。

【確認された希少種】

環境省レッドリスト2020、宮城県レッドリスト2021年版の掲載種として、昆虫類5種（トンボ類4種、チョウ類1種）と維管束植物3種が確認されている。

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
〈活動目的〉 　希少種のトンボ類や植物が生息している湿地・池沼を末永く維持していくために、水湿環境を適正に管理・保全しながら、一方でその重要性を認識いただくために、自然の中での体験を通じて生物多様性の大切さを普及させる。 〈活動内容〉 　田谷地沼：「荒沢自然館」を中心に、沼周辺は遊歩道が整備され、町内外の人々が訪れ、森林散策・自然観察が行われており、自然の大切さの理解を深める「自然体験」の場として、自然に親しみ、自然に学び、自然を守る活動を推進していく。町内外の小中学生よる自然観察・木工体験を実施する。 　動植物を無断で採取されることを防ぐために荒沢自然館の職員が田谷地沼周辺を監視し、日誌に記録する。 　上荒沢地区（田谷地沼より西の地域）：一般の方々の立ち入りを制限し、人為的な影響を受けないように湿原を維持する。 　全域：ドローンによりエリア内の池沼の状況を、毎年同時期に撮影し湿地の陸地化の進行を比較する。 　カヤの上・中・下、くりけ沼周辺の人工林：森林調査を実施し施業が必要な時期をみて、森林整備の作業を行う。 〈実施体制、計画の点検・見直し〉 　有識者及び加美町役場が中心となって上記の保全・利用活動等を行う。 　ニホンジカの食害について現時点で大きな被害はないが、エリア内の被害の確認を行い、状況によっては、猟友会の協力により捕獲対策を検討する。 　本活動計画は2年に1回点検を行い、必要に応じ改定する。	**【モニタリング対象】** ①本サイト内の湿原・池沼の動植物種 ②本サイトの池沼の状況調査 **【モニタリング場所】** ①田谷地沼、葦毛沼、くりけ沼、カヤの上・中・下沼 ②サイト内のすべての池沼（全10カ所） **【モニタリング手法】** ①目視確認 ②ドローン撮影 **【モニタリングの実施時期及び頻度】** ①有識者と町職員で年に１～２回程度を実施。 　実施時期は６月から７月の間。 ②５月と10月の２回実施。 **【モニタリング実施体制】** 　有識者と加美町役場で実施。